

きもの専門店チエーン  
のまるやま・京彩グループ  
(所在地東京 代表 丸  
山 実)は十三日、石巻市  
の法山寺幼稚園において、  
市内で被災した園児の家  
庭七十組を対象に「七五三  
祝い着のレンタル貸出を  
実施した。

この催しは、今年七月に  
基平・浴衣を石巻市の園児  
とその親に贈呈した同グ  
ループが、継続援助の一環  
として行ったもので、今回  
は、法山寺幼稚園の全面協  
力を得て、同園のほか、ひ  
ばり幼稚園、万石浦幼稚園  
石巻みずほ幼稚園、石巻カ  
トリック幼稚園の計五つ



の幼稚園児に対し希望を  
募った上で行われた。

十三日、時間を区切り三  
歳児九時から、五歳児一〇  
時から、七歳児は十三時か  
ら順次会場となった同園  
のホールに集まり、着付け  
が開始されていった。

初めて着物を着た五歳  
児の男の子は、着物姿で会  
場を駆け回り、晴れ着を着  
た喜びを子供らしく表現  
していた。

三歳児、七歳児の女子は、  
次第に変わっていく自分  
の姿に、周りが「可愛い」  
と声を掛けられる度に、多



少照れながらも笑顔を見  
せていた。

ほとんどの親御さんは、  
着物着付をすることが初  
めてで、スタッフの着付け  
方法の説明に熱心に聞き  
入る姿も見受けられた。

今回、被災者の家庭を対  
象に希望を募ったが、その  
半分の家庭は津波による  
被害が深刻な家庭で、中  
には仮設住宅から参加した  
親子もおり、「子供の晴れ  
着をどうしようかと思っ  
たが、どうしてもその気持  
ちになれずいたところ、  
この話を頂き、本当に夢の  
ようです。ありがとうございます。」と語っていた。

同グループは、今後二年  
間にわたりの催しを開  
催する予定しているが、それ



を知った親御さんからは、  
「今年はお借りすること  
はできなかったが、来年は  
是非借りたい」と語って  
いるという。

同グループの丸山代表  
は、「私達、まるやま・京  
彩グループはこのような  
生活を強いられているご  
家族に少しでもお役に立  
ちたい、次世代を担う子供  
たちのひまわりの様な笑  
顔で素晴らしい日本の伝  
統文化を伝えてゆきたい、  
そうしたいから、復興ま  
での期間、長期にわたり支  
援活動をきものを通じて  
行っていききたいと考えて  
おります。子供は日本の宝  
です。そして未来そのもの  
です。この子供  
たちに『きもの』  
で笑顔と夢を伝  
えていきたい。  
そして将来、そ  
のヒマワリのよ  
うな子供たちの

笑顔が、明るい日本を築き、  
日本のパワーとなってい  
くようになればいいなと  
願うばかりです」と語って  
いる。

今回の支援には、七名の  
スタッフがあたったが、そ  
の中には同グループの取  
り組みに賛同した顧客が  
参加しており、「今回、参  
加して子供たちの笑顔か  
ら逆にパワーをもらいま  
した」(志木店顧客川山内  
博美さん)と話していた。

